

# 標準化の重要性の高まり

## 資料1-1

### 技術をめぐる環境変化

#### <技術の複雑化・細分化>

(従来)  
一つの製品・サービスの実用化が少数のコア技術(特許)のみで可能。



(近年)  
一つの製品・サービスの実用化に多数のコア技術(特許)を要する。

例: 第3世代携帯電話における必須特許の数

W-CDMA	352件
cdma2000	235件

#### <市場拡大(世界市場化)>

(従来)  
まずは国内市場において競争。



(近年)  
はじめから世界市場を視野にいれなければ、生き残れない。  
(競争激化)

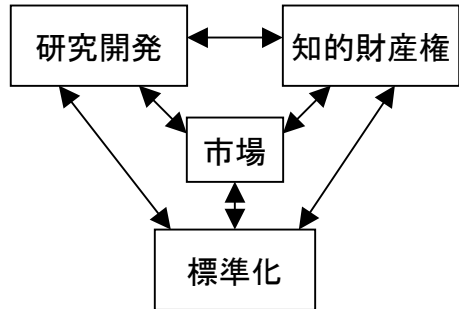
### 標準化の意義・取組の変化

(従来)  
商品実用化のために標準化は不可欠の要素ではなかった。

(市場競争の中で、高い市場シェアを獲得することにより事実上の標準化(規格化)が事後的になされていた。)



(近年)  
標準化を念頭におかなければ、市場が見えない。  
→標準化活動の早期化  
(技術開発戦略、知的財産戦略、標準化戦略が同時に相互にフィードバック)



(近年)  
**デジュール標準に加え、フォーラム規格の活動が活発化**

※デジュール標準  
公的位置付けを有する標準化機関において標準を作成。明確に定められた透明・公正な手続きに基づき、広範な関係者の参加を得て策定。

※フォーラム規格  
デジュール標準は、手続きを重視する反面、標準化まで長期間を要する場合がある。情報通信などスピードが重視される分野においては、民間企業の自主性のもとにフォーラム規格の活動が活発化。

### 標準化戦略

・標準化活動なくしては、研究開発の成果を確実に実用化・産業化できない。



#### 企業:

商品、技術の性格に応じて、標準化戦略を立て、研究開発戦略、知的財産戦略を三位一体で展開。

#### 政府:

政府の研究開発において、標準化戦略を組み込む。

標準化の重要性について普及啓発。人材育成。

フォーラム規格を始めとする新たな枠組に関連するルールを明確化。